2025～2026年度　クラブ運営方針

会　長　平尾　圭司

呉南ロータリークラブ　テーマ
「温　故　知　新」

会員の皆様、呉南ロータリークラブの創立55周年を迎える重要な年に会長を仰せつかりました入会12年目の平尾です。私が生まれる前から存続している長い歴史を有す当クラブ、呉南の歴史と伝統を守りつつ、社会に貢献出来る事業を行っていきたいと思っておりますので、何卒、ご協力の程宜しくお願い致します。

今年度の会長マリオ・セザール・マンティンス・デ・カマルゴ氏は、テーマを掲げず会長メッセージを世界に発信しました。

（2025年6月RIマリオ会長エレクトが会長を辞任されましたが、メッセージは継承。2025－26年度新RI会長は、フランチェスコ・アレッツォ氏が就任されました。）

そのメッセージは、Unite For Good 「よいことのために手をとりあおう」です。また「分断の種を蒔くのは簡単、しかし共通点を見つけるのははるかに難しい」と述べるRIマリオ会長エレクトは、更に「私たちは常に人の欠点を探しますが、人の才能を見つけるべきなのです」とも言われています。私は、そこにロータリーの存在価値があると思います。異なる人格の他者の意見をどう受け止め、そして1つの結果を出していくか？今の世の中に必要な考え方であると認識しています。

また、土肥慎二郎ガバナーは、**ガバナー信条として「Enjoy Rotary」～思いやりと奉仕の心で～（ロータリーを知り、楽しみ、仲間を増やそう）**と発信されました。さらに具体的には、①ロータリー基本はクラブです　②ロータリーを楽しんで下さい　③マイロータリーを活用して下さいと、この3つを各クラブの会長へ伝えられました。

このRIマリオ会長エレクト、土肥ガバナーのメッセージを受け、我がクラブに方針を落とし込む前に、我々クラブの現状把握と私がこのクラブをどの様に導きたいかをお伝えしたいと思います。

我がクラブは急激な会員減少により大きな岐路に立たされており、皆さんもそう感じているはずです。

私が当クラブに入会したのは今から12年前、その頃のクラブの雰囲気は、大先輩がどっしり構えておられ、中堅の先輩が組織の運営や入会の浅い会員の交流の場を提供し、とても均整の取れた組織であったと感じています。

それらは皆、会員相互のコミュニケーションの場があり、世代間のギャップの穴埋めを皆が意識していたと推察します。

それがコロナ感染症により、我々が大切にしてきた親睦が出来なくなり、世代間を越えたコミュニケーションが奪われた為に、クラブの帰属意識が薄らいだ様に感じます。

そこで本年度では、会員相互のコミュニケーションを行う場を多く設け、世代間を越えた信頼関係を構築し、楽しいロータリーを皆が感じられる事を最重要課題とし、退会防止を図り、また、我がクラブの公共イメージの向上を図る仕掛けとして、オープン例会を増やす、社会奉仕の発信事業を行う、創立55周年の記念事業で市民へ発信する！

それらにより会員増強と我がクラブの存在価値を高めたいと思います！

これらを重点分野とし、今後、我がクラブがV字回復出来る礎を築きたいと考えています。とにかく明るい呉南ロータリーを皆さんと創り上げていきます。ご協力の程宜しくお願い致します。

《呉南ロータリークラブ運営方針》

1. クラブ経費削減と収入の増額を実行
2. 会員増強
3. 委員会事業を充実し、委員会メンバーの意思疎通を図る為の委員会会議を開催
   ＊統括委員長が主導し、各委員長へ委員会を開く事を指示
4. 例会の充実
   ＊会員・外部講師の例会卓話を増やし、オープン例会を開催
5. 創立55周年記念事業で呉南ＲＣの公共イメージを向上
   ＊竹田講師を招いての記念事業で、地元呉の持続可能な良い変化を生む為の意識付けの仕掛けを行い、会員増強を目指す！
6. 「ロータリーのビジョン声明」の唱和を行う